

《平成20年度》

1 目 的

「いのちの教育」を進めていく際に基本的な考え方や効果的な指導計画（実践事例の開発・検討等）を提示する。推進部会（ワーキンググループ）を設定し、「いのちの教育」を根づかせるとともに、教師用の指導資料「いのちのブック」の活用をすすめる。（学習場面、生活場面等で教職員が日常的・計画的に取り組める実践事例の開発・研究）

2 委 員

	機 関 名	職 名	氏 名
1	鶴岡市立三瀬小学校	教 諭	難 波 剛 彦
2	酒田市立松山小学校	教 諭	長 谷 川 伸
3	遊佐町立遊佐中学校	教 諭	新 関 広 志
4	庄内教育事務所	主任指導主事	大 塚 等
5	庄内教育事務所	指導主事	赤 坂 宜 紀

3 内 容

(1) 具体的課題

① 「いのちの教育」を推進し、「いのちの教育」に関わる関係資料の収集を行う。

② 「いのちのブック」の活用を進めるとともに、実践事例の収集・普及を図る。

※ 推進部会は地域で「いのちの教育」をすすめる若手教員をメンバーとし、各種研修会等で実践例や「いのちの教育」について普及啓発を行う。

(2) 部会の協議内容

① 第1回推進部会（6月20日）

- ・昨年度までの取り組みの説明
- ・「いのちのブック」を活用した実践事例の開発・研究の進め方について
- ・推進スケジュールの検討

② 第2回推進部会（11月12日）

- ・「いのちのブック」活用した授業実践の参観及び話し合い
遊佐町立遊佐中学校 新関 広志 教諭
3年5組 道徳 「佐藤藤蔵の想いととは？」（4-4）社会に奉仕する喜び
- ・「いのちのブック」を活用した実践状況について
- ・「いのち」と「まなび」の研修会について

③ 第3回推進部会（1月20日）

- ・「いのちのブック」を活用した実践報告及び話し合い
- ・「いのち」と「まなび」の研修会について
- ・今年度の取り組みのまとめ
- ・来年度の進め方について

4 「いのち」と「まなび」の研修会での実践発表について

(1) 期 日 平成21年2月13日（金）

(2) 会 場 山形国際交流プラザ「ビッグウィング」

(3) 参加者 県内小中学校教員及び教育行政関係者

(4) 発表者及びテーマ

① 鶴岡市立三瀬小学校 難波 剛彦 教諭

「ぼくらの大好きなまち 三瀬」（「いのちのブック」P14・15参照）

② 酒田市立松山小学校 長谷川 伸 教諭

「公益の心にふれてみよう」（「いのちのブック」P16～19参照）

③ 遊佐町立遊佐中学校 新関 広志 教諭

「砂防林を支えてきた地域の先人の想いを受け継ごう」（「いのちのブック」P16～19参照）

※ 実践発表の詳細は、別添をご覧ください。